

安心と希望の介護ビジョン 在宅緩和ケアの視点から

ケアタウン小平クリニック
山崎章郎



WHOの緩和ケアの定義(2002年)

「緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より痛み、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな(霊的な・魂の)問題に関してきちんとした評価をおこない、それが障害とならないように予防したり対処したりすることで、クオリティーオブ・ライフ(生活の質、生命の質)を改善するためのアプローチである。」

ホスピスで学んだこと

- 症状コントロールの大切さ(WHO方式など)
- インフォームド・コンセントの大切さ
- チームケアの大切さ
- ボランティアとの協働
- 生きる意味を見失ってしまった人びとへのケアの大切さ(スピリチュアルケアの大切さ)
- 在宅ケアの大切さ
- 施設ホスピスの限界
- 在宅ケアの問題

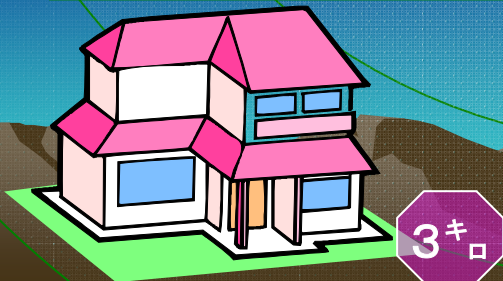
安心して暮らせるコミュニティケア

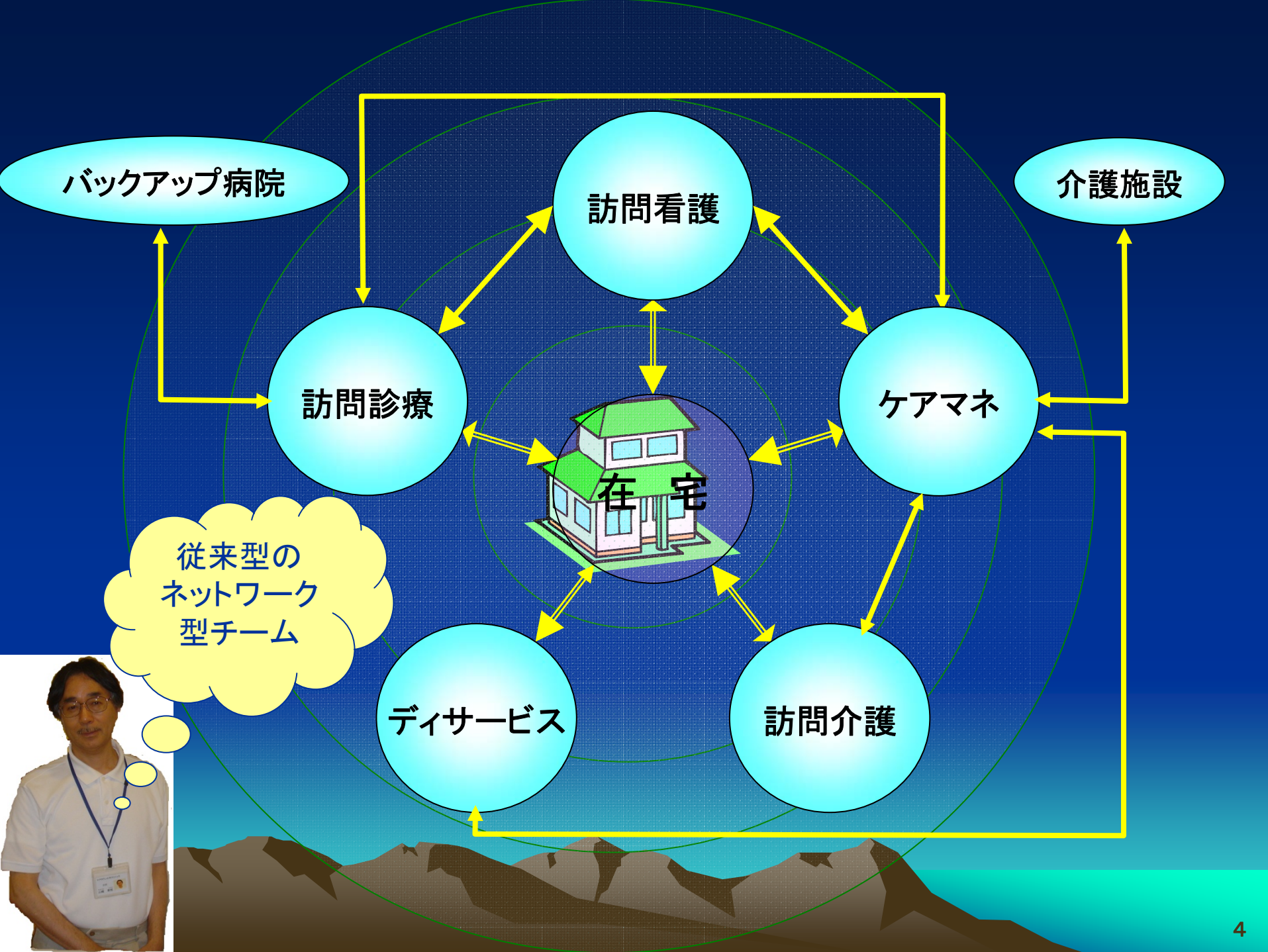
最期まで住みたいコミュニティ



たとえガンの末期であったとしても

最期まで...あなたらしさを支えます
そのコミュニティのなかで
尊厳と自立（自律）をもって暮らせることを
保証するコミュニティである。





バックアップ病院

介護施設

訪問看護

訪問診療

ケアマネ

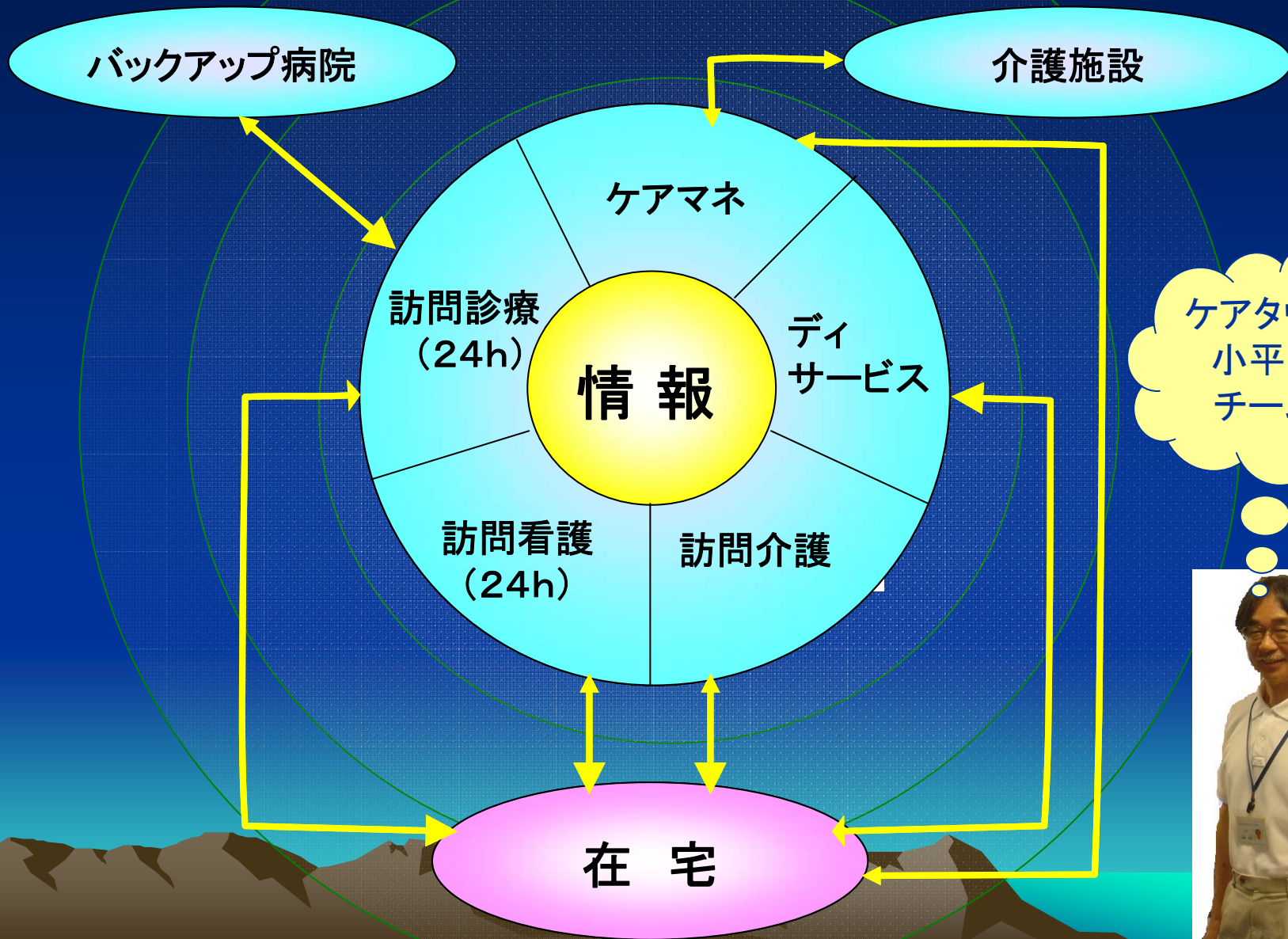
在宅

従来型の
ネットワーク
型チーム

ディサービス

訪問介護





ケアタウン
小平型
チーム

